

科目名 Subject	サロン実習 I Beauty Salon Practice I			教員名	河野 誠二 他	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2単位	
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	90時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力			表現力、すなわち芸術における実践力		
	◎			—		
科目の概要	美容に関する基礎理論・知識を踏まえ、サロンワークにおける、アシスタントワークの基礎技術を実習を通して学ぶと共に、企業が成長発展するため、ヒト、モノ、カネ、情報といった資源をいかに効果的に活用していったらよいかについてまとめ、企業が繁栄していくための経営学を学び、その中でもサロンに特化した経営理論（スキル開発・組織改革・店舗経営ビジョン策定など）を学ぶことで、より経営者になることを希望している学生に有益な学びを提供することを目的とする					
授業方法	対面授業を行う					
授業の目標	サロンワークのうち、シャンプー・マッサージ・ブローイング・ヘアカラー剤塗布までの技術、接遇並びに高齢者への対応を習得し実践することができる。また、サロン経営に特化した知識や思想を習得すると共に、其の内容をサロンによってカスタマイズする事の出来る指導者になることができる。					
時間外学習 （予習・復習）	予習においては各回資料判例を集め、復習においては授業の反省点等をまとめたレポート作成や実技の練習を行う。この復習については120分程度の時間を要することを想定しています。					
教科書・教材	教科書		無し			
	教材		無し			
	使用設備・備品		美容室			
	参考文献		無し			
評価方法	授業態度90%, レポートファイリング10%					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生への フィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	授業の一環として、美容の技術を生かしたボランティア活動や地域に貢献する活動を行います					
本科目履修と 関連する資格	資格名		無し			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	経営理念を学ぶ	・オリエンテーション ・経営の基礎的働きを学び、 理想に近づけることができる	
第2回	教育指導体制を学ぶ	各従事者の教育プログラムを説明することができる	
第3回	教育指導体制を自身で作成する ① ・新入社員指導マニュアル	新入社員の細かな技術習得プログラムを組み立てることができる	
第4回	教育指導体制を自身で作成する ② ・カット、パーマ技術講座	カット・パーマの細かな技術習得プログラムを組み立てることができる	
第5回	教育指導体制を自身で作成する ③ ・ヘアデザイン、着付技術講座	ヘアデザイン・着付の細かな技術習得プログラムを組み立てることができる	
第6回	現在のサロン状況を踏まえて、 将来目標を立てる方法を学ぶ	ギャップ分析などを行いサロンの現状把握ができ、それを基に将来目標を立てることができる	
第7回	一流美容師の人材育成を学ぶ① ・マネージメントサイクルを知る	マネージメントの基礎理論を説明することができる	
第8回	一流美容師の人材育成を学ぶ② ・組織改革を学ぶ	伸びるサロンの組織を分別できる	
第9回	一流美容師の人材育成を学ぶ③ ・新規顧客獲得方法 (店舗経営分析・競合店調査など)	現状を認識し、自社、競合店、顧客(3C)を的確に把握できる	
第10回	一流美容師の人材育成を学ぶ④ ・新規顧客獲得方法 (顧客構造・管理・サービス診断など)	3か月間の顧客変動把握と消費者の声から課題を抽出できる	
第11回	一流美容師の人材育成を学ぶ⑤ ・経営指標、販売促進指標分析	売上、単価、客数、稼働率コスト分析ができる	
第12回	一流美容師の人材育成を学ぶ⑥ ・優先実行項目策定・課題	施策、優先判断を決めることができる	
第13回	一流美容師の人材育成を学ぶ⑦ ・職能管理業務遂行規範	美容師職能8段基準を評価できるようになる	
第14回	稼げる美容師の育成を学ぶ⑧ ・顧客対応サービス	固定客づくりの為の高付加価値を説明できるようになる	
第15回	感性を身に付ける	他人よりも感じる能力を高めることができる	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 6 回	オリエンテーションを行う	授業の内容を把握し、サロンワークに必要な基礎知識・注意事項を説明できる	自信が顧客として体験したレセプションサービスについてまとめておく
第 1 7 回	①レセプションについて学ぶお互いが顧客とレセプションになり実践する	お出迎えとお見送りの心を学び説明できるようになる	姿勢、声のトーンに着目してきせつと思うことをまとめる。
第 1 8 回	②レセプションについて学ぶお互いが顧客とレセプションになり誘導方法を学ぶ	顧客名、日時、施術内容、指名技術者の有無、仕上がり時間等実際の流れを知り実施できる	スマホ・iPad等を使用して予約を取る練習、簡単なカルテを作成する。
第 1 9 回	③レセプションについて学ぶお互いが顧客とレセプションになりカウンセリング方法を学ぶ	謙譲語・尊敬語・丁寧語を使用し場面に応じた言葉使いを行える	高齢者、子供を対象とした言葉使いを考えレポートにまとめる。
第 2 0 回	シャンプー剤について学ぶ	シャンプー剤に含まれる成分を学び説明できるようになる	自身または家族が使用するシャンプーの成分表等～その特徴を、まとめる。
第 2 1 回	リンス剤について学ぶ	成分を知り施術をし合い効果の説明をできるようになる	5社以上のリンス剤の成分を調べ特徴をレポートにまとめる。
第 2 2 回	トリートメント剤について学ぶ	成分を知り施術をし合い効果の説明をできるようになる	リンス剤との違いをレポートにまとめる。
第 2 3 回	シャンプーの実践（１）ショートヘアシャンプーイングについて学ぶ（理論）	毛量長さに適したシャンプー剤の量や油圧を実施できる	ウイッグを使用し、指使い等を練習する。
第 2 4 回	シャンプーの実践（２）ショートヘアシャンプーイングについて学ぶ（ウイッグ使用）	実際にショートヘアのウイッグを使い適切な指使い、湯圧を行える	ウイッグを使用し、指使い等を練習する。
第 2 5 回	シャンプーの実践（３）ミデAム～ロングヘアシャンプーイングについて学ぶ（理論）	毛量長さに適したシャンプー剤の量や油圧を調整できるようになる	ウイッグを使用し、指使い等を練習する。
第 2 6 回	シャンプーの実践（４）ミデAム～ロングヘアシャンプーイングについて学ぶ	ウイッグを使用して適切な指使い、湯圧を理解する	ウイッグを使用し、指使い等を練習する。
第 2 7 回	シャンプーの実践（５）パーマヘアシャンプーイングについて学ぶ（理論）	カールの強さやダメージに合わせたシャンプー剤の選び方を理解する	ウイッグを使用し、指使い等を練習する。
第 2 8 回	シャンプーの実践（６）パーマヘアシャンプーイングについて学ぶ（ウイッグ使用）	ウイッグを使用して適切な指使い、湯圧を操作できる	ウイッグを使用し、指使い等を練習する。
第 2 9 回	シャンプーの実践（７）カラーリングヘアのシャンプーイングについて学ぶ（理論）	退色やダメージに合わせたシャンプー剤の選び方を行えるようになる	ウイッグを使用し、指使い等を練習する。
第 3 0 回	シャンプーの実践（７）カラーリングヘアのシャンプーイングについて学ぶ	ウイッグを使用して適切な指使い、湯圧を行える	シャンプーイングについて学んだ内容をまとめレポートにする。

全て 4 行まで

授業内容『あと48』文字以内	到達目標『あと25』文字以内	予習・復習・備考『あと32』文字以内
授業内容『あと27』文字以内	到達目標『あと36』文字以内	予習・復習・備考『あと37』文字以内
授業内容『あと24』文字以内	到達目標『あと19』文字以内	予習・復習・備考『あと30』文字以内
授業内容『あと19』文字以内	到達目標『あと31』文字以内	予習・復習・備考『あと35』文字以内
授業内容『あと48』文字以内	到達目標『あと34』文字以内	予習・復習・備考『あと30』文字以内
授業内容『あと50』文字以内	到達目標『あと35』文字以内	予習・復習・備考『あと36』文字以内
授業内容『あと46』文字以内	到達目標『あと35』文字以内	予習・復習・備考『あと45』文字以内
授業内容『あと25』文字以内	到達目標『あと35』文字以内	予習・復習・備考『あと45』文字以内
授業内容『あと16』文字以内	到達目標『あと30』文字以内	予習・復習・備考『あと45』文字以内
授業内容『あと17』文字以内	到達目標『あと30』文字以内	予習・復習・備考『あと45』文字以内
授業内容『あと21』文字以内	到達目標『あと37』文字以内	予習・復習・備考『あと45』文字以内
授業内容『あと22』文字以内	到達目標『あと29』文字以内	予習・復習・備考『あと45』文字以内
授業内容『あと22』文字以内	到達目標『あと36』文字以内	予習・復習・備考『あと45』文字以内
授業内容『あと15』文字以内	到達目標『あと29』文字以内	予習・復習・備考『あと45』文字以内
授業内容『あと20』文字以内	到達目標『あと38』文字以内	予習・復習・備考『あと35』文字以内

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 3 1 回	サイシャンプー（１）人頭によるシャンプーイングを学ぶ（セッティング）	お互いをモデルにし、セッティング技術を行える	セッティングに際して重要と思われる点をまとめておく
第 3 2 回	サイドシャンプー（２）人頭によるシャンプーイング（水圧コントロール）を学ぶ	お互いをモデルにし、シャワーヘッドの扱い、水圧コントロールを行える	家庭内のシャワーヘッドの形状とすいあつの違いをまとめておく
第 3 3 回	サイドシャンプー（３）人頭によるシャンプーイング（指使い）を学ぶ	お互いをモデルにし、シャンプー剤の種類による指使いを操作できる	ダメージ用・保湿用その他過程にあるシャンプー剤を使用し指通りを確かめる
第 3 4 回	サイドシャンプー（４）人頭によるシャンプーイング（毛量が多い人）を学ぶ	毛量が多い人の洗いかた（指使い）を行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第 3 5 回	サイドシャンプー（５）人頭によるシャンプーイング（毛量が少ない人）を学ぶ	毛量が少ない人の洗いかた（指使い）を理解し行うことができる	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第 3 6 回	サイドシャンプー（６）人頭によるシャンプーイング（長さが長い人）を学ぶ	長さが長い人の洗いかた（指使い）を理解し行うことができる	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第 3 7 回	サイドシャンプー（７）人頭によるシャンプーイング（長さが短い人）を学ぶ	長さが短い人の洗いかた（指使い）を理解し行うことができる	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第 3 8 回	サイドシャンプー（８）人頭によるシャンプーイング（水圧の違い）を学ぶ	毛量、長さに合わせた水圧を操作できる	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第 3 9 回	サイドシャンプー（９）人頭によるシャンプーイング（水温の違い）を学ぶ	毛量、長さに合わせた水温を理解し、操作できる	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第 4 0 回	サイドシャンプー（10）人頭によるシャンプーイング（水圧・水温を合わせる事）を学ぶ	毛量、長さに合わせた水圧・水温を理解し、取得する	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第 4 1 回	サイドシャンプー（11）人頭によるシャンプーイング（施術内容）を学ぶ	施術内容別シャンプーイングを説明できる	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第 4 2 回	サイドシャンプー（12）人頭によるシャンプーイング（カラーシャンプー）を学ぶ	ヘアカラー施術前・後のシャンプーイングを理解し、行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第 4 3 回	サイドシャンプー（13）人頭によるシャンプーイング（パーマシャンプー施術前）を学ぶ	パーマ施術前のシャンプーイングを行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第 4 4 回	サイドシャンプー（14）人頭によるシャンプーイング（パーマシャンプー施術後）を学ぶ	パーマ施術後のシャンプーイングを理解し、行える	実習の反省点、次回改善点をまとめる
第 4 5 回	サイドシャンプー（15）人頭によるシャンプーイング（エクステンション）を学ぶ	エクステンションヘアのシャンプーイングを理解し行うことができる	実習の反省点、次回改善点をまとめる